

事業計画書

【チェック欄】 本事業計画は、「ふくいオープンイノベーション推進機構」の企画検討会委員が所属する
いずれかの機関（※）で「事前相談」を受けている。

※福井大学(産学官連携本部)、福井県立大学(地域経済研究所)、福井工業大学(地域連携研究推進センター)、
福井工業高等専門学校(地域連携テクノセンター)、福井県工業技術センター(企画支援室)

I 申請者（県内中小企業または県内中小企業グループ）の情報

※ 申請者が県内中小企業グループの場合は、グループ内の企業それぞれで1枚ずつ作成してください

企業の詳細	企業名			
	代表者役職・氏名	印		
	住所			
	TEL		FAX	
	主要製品			
	資本金	万円	従業員	人
	主たる業種	(日本標準産業分類、中分類)	設立	年 月
	経営状況	別添1「経営状況表」のとおり		
連絡担当者	所属・役職			
	氏名			
	TEL		FAX	
	Eメール			
研究員 (所属・役職 氏名) ※代表研究者には○を付けてください。				
実施体制（連携体の構成員）は、様式第1号（様式第2号）の別添2に記載				
経理担当者 (所属・役職 氏名)				
BCP（事業継続計画）策定について	BCP 策定 有・無 ※有の場合はBCPを添付してください。			
SDGs に対する取り組みについて	SDGs に対する取り組み 有・無 【概要】 有の場合は取り組みの概要を記載してください。			

II 事業内容

1 概要 (A4 1枚以内)

テーマ名	安価で使いやすい〇〇向け▲▲システムの開発		
事業類型	<input type="checkbox"/> 地域経済牽引型 <input checked="" type="checkbox"/> 小規模技術開発支援型		
事業の要約	スマホで簡単に〜〜を管理でき、■■のモニタリングが可能な低価格の▲▲システムを開発する。		
技術開発・試作品開発	<p>【従来技術の課題と解決方法】</p> <p>従来技術：現行の▲▲システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの・・・につき1つのシステムが必要 <ul style="list-style-type: none"> → 複数の・・・を同時に管理できるシステムの開発 ・モニタリングできるパラメーターが少ない (〇〇、〇〇、〇〇のみ) <ul style="list-style-type: none"> → 要望の多いパラメーターを表示するため、多数のセンサーを実装 ・アプリが●●向け (不要な項目が多い) <ul style="list-style-type: none"> → 〇〇向けに必要な項目だけを表示可能なアプリを開発 <p>【具体的内容と目標】</p> <p>①複数の・・・とシステムをつなぐため、現行のシステムを新しい電子基盤に移行 目標：3つ以上の・・・1つのシステムで同時に管理</p> <p>②〇〇、〇〇などのセンサーを・・・に取り付け1ヵ月間の実証実験を実施 目標：〇〇、〇〇のセンサーのデータを常時モニタリング可能であること。</p> <p>③現行のシステムのアプリを改良 目標：新規センサーのデータがモニタリング可能で、表示項目を選択可能な新規のアプリを開発</p>		
販路開拓	〇・・・展に出展 〇・・・社と打合せ 〇・・・展の視察		
事業化の目標	事業化する製品・サービス等の名称	〇〇向け▲▲システム	
	事業化時期	令和〇年〇月	
	想定する市場	〇〇分野	
	売上規模	事業化初年度 (令和〇年度)	事業化5年後 (令和〇年度)
参加者と役割分担	機関名	役割	
	〇〇株式会社	システム、センサー実装、アプリの開発、実証実験	
	▲▲大学	アプリの開発、実証実験	
	□□銀行	販路開拓支援、開発資金の融資	
事業実施期間	開始予定期日 交付決定日 完了予定期日 令和 年 月 日		

2 詳細

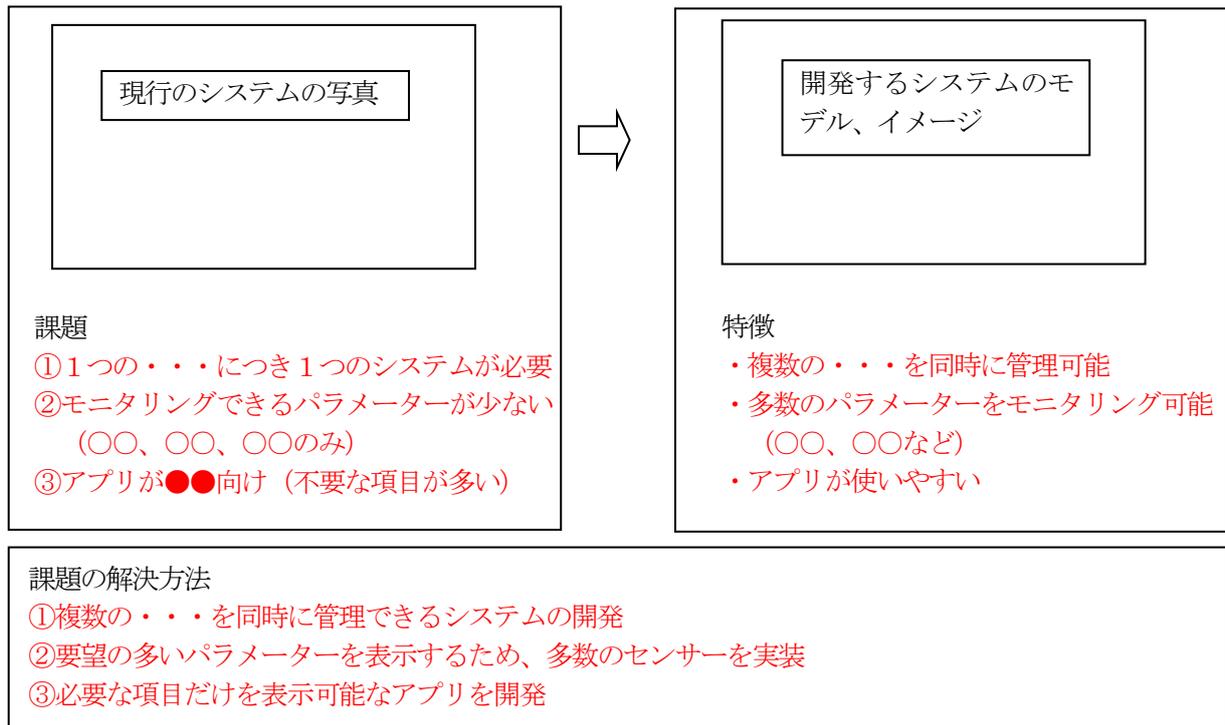
(1) 技術開発・試作品開発（2ページ以内）

①研究開発の概要および背景

例) ○○の分野では、▲▲システムが高価であるため、システムの導入が遅れており、……。自社ではこれまで安価な▲▲システムの開発に取り組んできたが、……といった課題が生じている。そこで、……

②従来技術での課題

- ・従来技術と開発する技術の違いが明確にわかる全体のイメージを写真や図を用いてわかりやすく記載してください。
- ・従来課題と開発する技術の特徴、課題の解決方法を具体的に箇条書きで記載してください。



③研究開発の具体的内容および目標

①複数の……とシステムをつなぐため、現行のシステムを新しい電子基盤に移行

……のスペックを実現できる電子基盤として、……を検討している。現行のシステムを……に移行し、複数の……を管理できるようシステムを構成する。具体的には……

目標：3つ以上の……1つのシステムで同時に管理

(3つの……を管理する事業者が多いため、3つの……を同時に管理できるシステムを目指す。)

②○○、○○などのセンサーを……に取り付け1ヵ月間の実証実験を実施

……

目標：○○、○○のセンサーのデータを常時モニタリング可能であること。

(○○の分野にて○○、○○をモニタリングできるシステムが求められている。また、常時モニタリングすることで、……に対応が可能となる。)

③現行のシステムのアプリを改良

……

目標：新規センサーのデータがモニタリング可能で、表示項目を選択可能な新規のアプリを開発

(……)

(2) 販路開拓

○具体的内容および期待される効果

- ・▲▲展に出展
○○分野への販路開拓をおこなう。目標○社との名刺交換、○社との打合せ
- ・○○社と打合せ
事業化のための・・・の検討をおこなう。
- ・■展の視察
○○分野の市場調査をおこなう。○○分野の動向を調査し、▲▲システムの販売促進戦略を構築する。

(3) 技術開発・試作品開発や販路開拓で予定している主な工程ごとのスケジュール

【 年度】

研究項目\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①電子基盤移行				→	→							
②新規センサー実装				→	→	→	→	→	→			
③アプリ開発						→	→	→	→	→		
④販路開拓							→	→	→	→	→	→

(4) 技術開発成果の事業化の目標

事業化する製品・サービス等の名称	〇〇向け▲▲システム					
事業化の時期	令和〇年〇月					
市場の規模および動向	<p>○想定する国内、海外市場の現状、今後の動向 現在の・・・のうち▲▲システムを導入しているのは〇%。残りの〇%は、・・・、・・・という理由で導入が進んでいない。今後、〇〇の分野ではさらに・・・化が進むことにより・・・</p> <p>○ユーザーニーズ ・・・、・・・な▲▲システム</p>					
具体的な内容および方法	<p>○販売促進戦略 県内の〇〇事業者への販売については、・・・社と連携済。 県外の〇〇事業者への販売については、・・・展、・・・展など〇〇関連の展示会に出展し、興味を持っていただいた企業と連携。 また、展示会視察などにより・・・の製造委託先の調査を行い、〇個単位での製造が可能になるようにする。</p> <p>○知財戦略 令和〇年〇月特許出願予定</p> <p>○事業化の体制 自社で▲▲システムを製造し、・・・社を通して県内の〇〇事業者へ販売。</p>					
売上等の見込み		令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	売上高	5,000千円	25,000千円	150,000千円	500,000千円	1,500,000千円
	販売数量	1個	5個	30個	100個	300個
	売上高の根拠	<p>県内の・・・のうち▲▲システムを導入しているのは0%。 ▲▲システムの単価5,000千円</p> <p>事業化1年目は、・・・を通して、県内1事業者へ販売。 2年目は県内5事業者、3年目は県内30事業者。 4年目以降は全国展開し、それぞれ100個、300個の販売見込み。</p>				

(5) 補助事業の実施体制

別添2「実施体制等一覧表」のとおり

(実施する業務内容と、連携する大学等および関わる関係者のそれぞれが担う役割を記載した実施体制図を簡潔に記した上で、試作開発や販路開拓の実施過程で必要な技術等をどのように手立てするのかを具体的に記載してください。)

- 3 申請者の公的支援制度の利用実績（過去5年間）および申請予定
（申請者が、県内中小企業グループの場合は、グループ内のそれぞれの企業ごとに表を作成してください）

企業名

年度	実施機関	制度名	補助金額	事業化の有無
			千円	
			千円	
			千円	